

平成25年度事業報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日

《公益事業活動》

I. 児童青少年育成事業

児童青少年育成事業とは、こども文化劇場の開催など文化活動を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とするものである。

(1) こども文化劇場の開催

こども文化劇場とは、舞鶴では、生の演劇に触れる事が少ないので、親子で優れた演劇を観てもらって、夢と感動を与え、人間の生き方を考える機会とする。

＜第21回こども文化劇場＞

開催日	平成25年8月2日（金）
場所	舞鶴市総合文化会館
主催	舞鶴子ども育成支援協会・公益財団法人舞鶴文化教育財団
共催	舞鶴市
出演者	すわらじ劇園
演目	オズの魔法使い
来場者数	約1500人
来場対象者	幼児・小学生・父兄など
参加料	無料
開催案内方法	舞鶴市内の公民館と図書館及び子育て支援センターなどに、ポスターとチラシと入場整理券を配布する。 商業施設のインフォメーションボードにポスターを貼る。

(2) 生活文化向上作品展

生活文化向上作品展とは、夢と希望のある作品を制作し、出品できる機会を作り、生活文化の向上に寄与する。今年度も小学校の夏期の自由研究の形で提出される科学作品展を、更に発展させるために、努力・アイディアの観点から選出し、多くの人が集まる大型店で展示した。子供達に大きな夢と希望を持って、科学の探求や生活文化の向上に取り組んで欲しい。

＜第17回小学校生活文化向上作品展の開催＞

開催日	平成25年9月21日（土）～9月22日（日）
場所	駅前の大型商業施設「らぽーる」1階 セントラルコート
出品作品数	49点
出品対象者	舞鶴市内の小学校児童
出品作品募集方法	舞鶴市小学校教育研究会・舞鶴市内の小学校の協力を得て、

	科学作品展に出品されている作品から、選定する。
出品作品選定方法	小学校の科学作品展に行き、選ぶ。
選定委員	(公財) 舞鶴文化教育財団理事長・理事
テーマ	「科学研究や生活文化の向上に、アイデアや努力を持って、取り組む姿勢」
来場者人数	約2300人
来場対象者	幼児からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	舞鶴市内の小学校校長先生及び選出された保護者に案内文を送付する。
記念品	出品してくれた児童に出す。

(3) 文化興隆事業

文化興隆事業とは、日本の良き文化を継承し、発展していくために実施する。

<第15回小学生書初め展>

開催日	平成26年1月13日(月)
場所	「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	50点
出品対象者	舞鶴市立吉原小学校の1年生から6年生児童
出品作品募集方法	舞鶴市内の小学校に順番に依頼しており、今年度は舞鶴市立吉原小学校に依頼した。
出品作品選定方法	選定するのではなく、学年全体で出品してもらう。
テーマ	新年にふさわしい言葉
来場者数	約937人
来場対象者	小学生からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	作品を出品してもらっている小学校に文書で案内する。
記念品	出品してくれた児童に出す。

2. 教育、スポーツ、文化活動事業

教育、スポーツ、文化活動事業とは、教育、スポーツ、文化活動を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業である。

(1) 教育関係事業

教育関係事業とは、教育関係者に対する助成、英語祭に対する助成、当財団が主催する文化的教室などを通して、市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育成する。

① 教育研究の助成事業

教育研究の助成とは、舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、海上保安学校などにおいて、幼少期から青年期までの心身の発達と教育効果の高揚を期するため、教育関係の個人及び団体に対し、一層の研究の推進を図る。

- ・ 助成先の募集方法 HP上で基準公開の上、公募する。
平成25年4月22日（月）から5月31日（金）
小学校校長会（4月17日）中学校校長会（5月9日）
に出席して説明する。
- ・ 助成書類の確認と各校を訪問してヒアリングする
- ・ 選定委員会 平成25年6月28日（金）
高橋淑郎理事・小川彬理事・理事長
舞鶴市の小学校・中学校・高等学校6校から応募があり、選定委員会で6校が助成内定する。
- ・ 助成金額 1研究につき、30万円以下とする。
- ・ 助成先と研究主題
舞鶴市立三笠小学校 「自らさぐり、自ら深める国語学習の創造」
～書くことで考えを深める～
舞鶴市立与保呂小学校 「自己を見つめ、自身に満ちた与保呂っ子の育成」
～豊かな学校文化をはぐくむための道徳実践～
※平成25年11月6日（水）13時45分～14時35分
第11回校内重点研究会の第2学年の道徳授業「くりのみ」を参観する。
舞鶴市立城南中学校 「ライフスキル教育」の研究
舞鶴市立白糸中学校 「生徒の学習意欲を高める授業の創造と家庭学習の充実に向けて」
舞鶴市立由良川小学校 「確かな学力を身につけつつながりの中で学び合う児童の育成」
～加佐地域の特色ある学校の創造に向けて～
※平成25年11月15日（金）8時50分～9時50分
体育館で全校生徒が参加する。モジュール学習を参観する。
（学年ごとにリズム・アクセント・強弱などに注意して暗唱する。）
聖ヨゼフ学園日星高等学校 「生徒の自己肯定感を高めるコミュニケーション能力の育成」
～自分の力を喜んで他者のために使える人間に～

②舞鶴市中学校英語祭助成事業

舞鶴市中学校英語祭助成とは、主催は舞鶴市中学校教育研究会で、舞鶴市教育委員会と後援している。舞鶴市内7中学校の各学年代表による、英語・スピーチコンテストを実施することにより、国際化時代に対応する英語力の育成を図る。

＜第29回舞鶴市中学校英語祭(OEF)＞

開催日	平成25年11月16日(土)
場所	舞鶴市政記念館
主催	舞鶴市中学校教育研究会
後援	舞鶴市教育委員会・公益財団法人舞鶴文化教育財団
対象者	舞鶴市内の中学校7校
出場者数	7校21名
入賞者数	9名
入賞選定委員	舞鶴市立中学校英語科教諭 2名 AET 2名
選定基準	声の大きさ・発音・スピーチの内容・発表態度
商品	楯 6個(各学年優勝、準優勝×3学年) 参加賞 29名(参加者と受付などのスタッフ)

(2) 文化教育等団体への助成事業

文化教育等団体への助成事業とは、文化、教育、スポーツ活動を行う団体への助成活動を通じて、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

①ちびっこソフトボール大会助成

ちびっこソフトボール大会への助成とは、主催は舞鶴市PTA連絡協議会・社団法人舞鶴青年会議所で、地域における協働・連携の推進・青少年健全育成を目的に開催されている。舞鶴市内の小学生が、各町内を代表して1つの小学校から1～2チーム出場し、トーナメント形式で勝敗を決める。同時に絵画も募集し、大会当日優秀作品も展示されている。大会運営費や記念品を贈呈した。

＜第42回市長旗ちびっこソフトボール大会＞

開催日	平成25年8月18日(日)
場所	東舞鶴運動公園陸上競技場
援助	ちびっこソフトボール大会の運営費・ポスターコンクールの記念品等
参加チーム	18校区代表32チーム
優勝チーム	A・B・C・Dゾーン各1チーム
参加者数	選手458人 監督32人
来場者数	約550人

②社会文化団体など助成

スポーツ協会・文化協会その他団体への助成とは、一般社会において、法人・団体・組合などで組織活動を行う場合は、組織の範囲内で活動・運営することが当然であるが、新規事業を行う場合等に、資金不足に陥る事がある。そこで、外部からの援助を行う事により、活動が広がり社会貢献に繋がっていく。

・助成先の募集方法

HP上で基準公開の上、公募中

平成25年10月7日（月）から11月11日（月）まで

・助成金額

一件あたり20万円以下とする。

・審査 平成25年12月10日（火）理事会にて

・助成先と事業内容

日本ボーイスカウト舞鶴第3団 「ボーイスカウト活動」

ひも付きゼッケン 100着

贈呈式 平成26年5月31日（土）予定

場所 青葉山ろく公園（グリーンスポーツセンター）予定

上田流尺八道竹龍会（舞鶴市文化協会所属）

上田流尺八道竹龍会創立60周年記念・中村雅園開軒50周年記念

「邦楽演奏会」

譜面台 12台 パイプ丸椅子 20脚

贈呈式 平成26年5月15日（木）10:00～10:40

出席者 上田流尺八道竹龍会 会主

（公財）舞鶴文化教育財団 理事長・理事・財団スタッフ

* 邦楽演奏会に行く。

日時 平成26年4月27日（日）

12時30分開演

場所 舞鶴市総合文化会館大ホール

出演者 上田流尺八道竹龍会

中村雅園氏

琴・三味線・打ち物など

演奏曲目 「八千代獅子」ほか15曲

来場者数 約550人

③ 教育機関への助成事業

海上保安学校助成

海上保安学校助成とは、日本でただ一つの海上保安学校は舞鶴の誇りであり、海国日本の海上交通安全や、海上警備のために、大きな役割を果たす海上保安官を養成している。この重要任務を担われている海上保安学校に対して、地元から声援を送りたいと、不足している図書・教材・楽器などの教育備品拡充の支援を行ってきた。今年度は教育備品の拡充及び教育環境の整備・充実を支援する。

<コ・オーディネーショントレーニング講習会>

開催日 平成25年4月27日(土)
場所 海上保安学校の体育館・視聴覚教室
講師 徳島大学大学院教授 荒木秀夫氏
対象 学生及び教官

<講演会>

- 1 開催日 平成26年2月4日(火)
場所 海上保安学校の講堂
講師 独立総合研究所 代表取締役社長兼首席研究員 青山繁晴氏
演題 日本の出番、祖国は甦る(人格形成のための講習)
対象 学生及び教官
- 2 開催日 平成26年3月14日(金)
場所 海上保安学校の講堂
講師 元東京都監察医務院長 医学博士 上野正彦氏
演題 検視に必要な法医学入門(法医学講義)
対象 学生及び教官

<学生音楽隊演奏技術指導料支援>

5月から9月までの14回の指導料の支援
10月から3月までの19回の指導料の支援

<クラブ活動技術指導料支援>

剣道クラブの指導料の支援

<贈呈式>

日時 平成26年3月7日(金) 10:30~11:00
場所 海上保安学校 公室
出席者 海上保安学校 校長先生・副校長先生・事務部長
教育訓練部長・図書課長・総務課長
教官

(公財)舞鶴文化教育財団 理事長・理事・財団スタッフ

目録	ドラムヘッド	一式
	楽器消耗品等	一式
	吹奏楽 楽譜	一式
	管楽器修理	一式
	ピアノ調律	一式
	図書・DVDソフト	一式

学校法人聖ヨゼフ学園 日星高等学校助成

舞鶴市内にある唯一の私立の高等学校であり、第二次世界大戦後の混迷期から、一貫して女子生徒の情操や道德面の教育に力点をおき、大きな成果を上げて来られた。更に男女共学になり、高等看護専門コースも併設され、広範な教育推進に専念されている。これまでも、図書やベッドなどの備品拡充に協力してきた。

今年度は、教育研究の助成事業の中で助成を実施した。

④ 音楽関係助成

音楽関係助成とは、音楽活動を通じて、舞鶴市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的とし、音楽活動を行なう団体及び舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、ポリテクカレッジなどのクラブ活動に助成するものである。

- ・審査 平成25年6月6日（木）の理事会
申請は小学校が2校、中学校が3校、高等学校が1校、団体が1つで、理事会で審査する。
- ・助成先の募集方法 HP上で基準公開の上、公募する。
- ・助成金額 1事業50万以下とする。
- ・助成先及び助成の内容

舞鶴市立城北中学校 吹奏楽部「トロンボーン、クラリネット」

贈呈式 平成25年7月29日（月）
場所 舞鶴市立城北中学校音楽室（4階）
出席者 教頭先生・吹奏楽部顧問の先生・吹奏楽部の部員
当財団理事・財団スタッフ 2名
演奏披露 「ふるさと」

舞鶴市立城南中学校 吹奏楽部「フルート、アルトサックス」

贈呈式 平成25年8月8日（木）
場所 舞鶴市立城南中学校 視聴覚室
出席者 校長先生・教頭先生・顧問の先生2名・吹奏楽部の部員
当財団理事・財団スタッフ 2名

*城南祭に出席する 平成25年11月4日（月）

(舞鶴市教育委員会からの感謝状を頂く)

吹奏楽部演奏披露 「フェニックス時を超える不死鳥の舞」 など
舞鶴市立新舞鶴小学校 校内音楽会「サイトウ テナーマリンバ 1台」

贈呈式 平成25年8月9日(金)
場所 舞鶴市立新舞鶴小学校 校長室
出席者 校長先生・教頭先生・担当の先生
当財団理事・財団スタッフ 2名

*音楽会に出席する 平成25年10月29日(火)
舞鶴市立倉梯第二小学校 クラブ活動及び特別支援学習における和太鼓
指導

「長胴太鼓武蔵 1.6尺巻耳重ね台座セット5」「講師交通費及び謝礼」
贈呈式 平成25年9月18日(水)
場所 倉梯第二小学校のグラウンド
出席者 校長先生・教頭先生・先生方・児童
当財団理事長・当財団理事・財団スタッフ 1名

舞鶴市立青葉中学校「輝け青葉デー」の会館使用料等
贈呈式 平成25年11月2日(土) 合唱コンクール「輝け青葉デー」
場所 舞鶴市総合文化会館
出席者 校長先生・教頭先生・先生方・生徒
当財団理事・財団スタッフ

吹奏楽団 ブルーマリンズ「アダムス ティンパニー 1台」
贈呈式 平成25年11月24日(日)
場所 グレイスヴィルまいづる
出席者 ブルーマリンズ団長さん・団員さん
当財団理事・財団スタッフ 2名

演奏披露 「クリスマスイブ」

*吹奏楽団ブルーマリンズ第11回定期演奏会に行く。

日時 平成26年4月20日(日) 舞鶴市民会館 14時～16時
場所 舞鶴市民会館
出演者 ブルーマリンズ 約41名
舞鶴高等工業専門学校 約15名
演奏曲目 「キャンディード序曲」ほか12曲
来場者数 約380人

今年度は、舞鶴市教育委員会より、舞鶴市立新舞鶴小学校・舞鶴市立倉梯第二小学校・舞鶴市立城北中学校・舞鶴市立城南中学校の音楽助成に感謝状を頂く。

(3) スポーツ活動事業

スポーツ活動事業とは、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

①体育振興事業

体育振興事業とは、身体を動かすことによって、市民の心身の健全な発達に寄与する。

<健康体操教室の開催>

指導員	財団スタッフ（2名） 資格 公益財団法人日本スポーツクラブ協会 「中高老年期運動指導士」
開催日	毎月6回（各老人ホーム・障害者支援施設で月1回実施する）
場所	特別養護老人ホーム安寿苑とデイサービス 特別養護老人ホームグリーンプラザ博愛苑とケアハウス 舞鶴市立安岡園 障害者支援施設 こひつじの苑舞鶴
参加人数	各教室で約10人

3. 文化財保護事業

文化財保護事業とは、舞鶴市に係わる文化財の保護事業を通して、文化の発展に寄与する。

<神崎ホフマン窯保存活用事業>

現在、ホフマン窯は日本に4箇所残っているだけであり、神崎ホフマン窯は国の登録文化財に登録されており、また、平成19年に「建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産の歩みを物語る近代化産業遺産」として、認定され、平成23年の10月には管理団体として指定を受けた。

・4月4日（木）

舞鶴市立赤れんが博物館で行なわれたホフマン展を、財団スタッフ3人で見に行く。小野さんから話を聞く。

赤れんが2号棟、3号棟、4号棟、5号棟を見て回る。

・5月23日（木） 竣工式

場所	舞鶴市字神崎（神崎ホフマン窯所在地）
参加人数	31人
参加者	神崎ホフマン窯検討委員・舞鶴工業高等専門学校校長・ 経済産業省・京都府中丹広域振興局・京都府教育庁・ 舞鶴市教育委員会・舞鶴市産業振興部・特定非営利活動 法人赤煉瓦倶楽部舞鶴・神崎ホフマン窯保存推進協議会・

松井建設(株)・(株)総進建設工業・三菱東京UFJ銀行京都支店兼京都府中央支店・中野公認会計士事務所・
公益財団法人舞鶴文化教育財団理事長・理事・監事・評議員ほか

・ホフマン窯見学

9月の中旬の午前中

社会福祉法人岡田福祉会岡田保育園の園児と先生 約30人

10月22日(火)

ひばり幼稚園の園児と先生 約150人

10月23日(水)

由良川小学校4年生と先生 約19人

11月26日(火)

岡山県笠岡市教育委員会の方

3月中旬

ホフマンの写真撮影 約2人

・財団スタッフの一人が常駐し、ホフマン窯周辺の清掃・管理などを行っている。

4・国際交流事業

国際交流事業とは、外国の風土や文化を理解することにより、国際感覚を養い、外国人・留学生など、地域で生活している人が増えている現状の中で、外国人と市民が直接、交流できる場を提供する。

(1) 国際交流事業の助成

この事業は、京都府民に係る非営利を目的とする団体等が実施する イ)青少年児童交流促進に関する事業 ロ)文化交流事業 ハ)留学生等外国人府民支援事業 ニ)海外に対する協力事業 ホ)その他市民レベルの国際交流事業で助成の効果が期待できる事業などの各種交流事業に助成することで、舞鶴市民の国際交流活動を活性化させ、市民レベルの国際交流活動を育成・奨励するために行なわれる。また当該団体等が助成対象事業を確実に遂行できる見込みがあることを要する。

・助成先の募集

HP上で基準公開の上、公募中である。

平成25年10月7日(月)から11月11日(金)まで

・助成金額

今年度は1事業60万円以下とし、施設費、備品購入費は1事業120万円以下とする。

・助成先と事業内容

沙漠緑化活動京都隊 「中国内モンゴル地区における沙漠緑化活動」

贈呈式 平成26年5月2日(金) 13:00～13:30

場所 公益財団法人舞鶴文化教育財団事務所

出席者 沙漠緑化活動京都隊 隊長・隊員1名

当財団理事長・理事・スタッフ4名

(株)舞鶴市民新聞社 記者1名

(3) 国際児童画展の開催

国際交流児童画展では言葉では表せないものが、絵には自然と表れるので、絵を描いたり、見ることによって、自分の町を知り、また他国の違い、共通点を見つけて視野を広げて欲しい。

<第6回国際児童画展>

開催日 平成26年3月21日(金)～3月22日(土)

開催場所 「らぼーる」1階 セントラルコート

出品作品数 アジアの子ども達の絵(インド・フィリピン・ネパール・
中国・韓国・ドイツ) 46点
シオン幼稚園の絵(年中・年少) 45点
アジアのおもちゃ(インド・フィリピン・韓国・ドイツ・
日本) 22点

絵画の集め方 当財団にある外国の子供たちの絵から未展示の絵を選ぶ。
舞鶴市内の幼稚園の絵を借りる。

おもちゃの集め方 ドイツのおもちゃは現代玩具博物館・オルゴール夢館から購入。
インド・フィリピン・韓国・日本のおもちゃは当財団にあるもの。

来場者数 約1940人

来場対象者 幼児からお年寄りまで

参加料 無料

開催案内 各新聞社にFAXを送信する。

出展依頼をした幼稚園にミニチラシの案内を出す。

以上